

2020年基準 世帯消費動向指数（CTIミクロ）の推定方法

1 世帯消費動向指数（CTIミクロ）の概要

- ・世帯消費動向指数（CTIミクロ）は、我が国における世帯の消費支出の平均額の推移を示す指数である。
- ・世帯消費に関する三調査（家計調査、家計消費状況調査及び家計消費単身モニター調査）を合成して得られた消費支出（平均月額）を元に、基準年を100とする指数を毎月作成している。総世帯、二人以上の世帯及び単身世帯ごとに、消費の内訳別（10大費目別、財・サービス区分別）の指数を作成している¹。
- ・総世帯及び二人以上の世帯の消費支出の推移には、世帯の人数や世帯員の年齢などの変化の影響が含まれることから、こうした世帯数の分布を調整（基準年の分布に固定）した「分布調整値」も作成している。
- ・これらの指数全てについて、物価変動を考慮しない名目値及び物価変動を加味（消費者物価指数で実質化）した実質値を作成している。また一部の指数を除いて、季節変動の影響を除いた季節調整値を作成している。
- ・結果表の体系は以下のとおりである。各結果表には、月次、四半期及び年次の名目値及び実質値を掲載している。

表番号	結果表	世帯の種類		
		総世帯	二人以上の世帯	単身世帯
第1-a-b表	10大費目別 世帯消費動向指数			
	財・サービス区分別 世帯消費動向指数			
第2-a-b表	10大費目別 世帯消費動向指数 分布調整値			
	財・サービス区分別 世帯消費動向指数 分布調整値			-

a：原数値の場合は1，季節調整値の場合は2
b：指数値の場合は1，増減率の場合は2

- ・上記結果表のほか、品目別の支出金額を掲載した参考詳細表も、毎月公表している。

（ 1 ）総世帯及び二人以上の世帯については、勤労者世帯の指数も作成している。

2 推定の手順の概要

(1) 家計消費単身モニター調査と家計調査の合成

調査方法の違いを考慮して、家計消費単身モニター調査を調整し、家計調査を合成する。

(2) 家計消費状況調査との合成

購入頻度の少ない高額商品・サービスについて、世帯属性（世帯人員及び世帯主の年齢階級）別に、(1)と家計消費状況調査による支出金額とを合成する。

(3) 世帯属性別支出金額の算出

(1)及び(2)により、世帯属性（世帯人員及び世帯主の年齢階級）別の支出金額を算出する。

(4) 世帯の種類別支出金額の算出

当月（又は基準年）の世帯属性別世帯数をウェイトに用いて、(3)の世帯属性別支出金額を加重平均し、世帯の種類（総世帯，二人以上の世帯及び単身世帯）別の支出金額を算出する。

(5) 指数値の算出（名目値，実質値，季節調整値及び傾向推計値²）

(4)で求めた支出金額を、基準年の消費支出の平均月額で除することで、基準年の消費支出の平均月額を100とする指数を作成する。また、指数の実質値及び季節調整値を算出するほか、傾向推計値を算出する。

（2）傾向推計値とは、原数値から季節要素及び各月の不規則変動を除去した指数である。各月の値は、最新月の値によって変化し得ることに留意されたい。

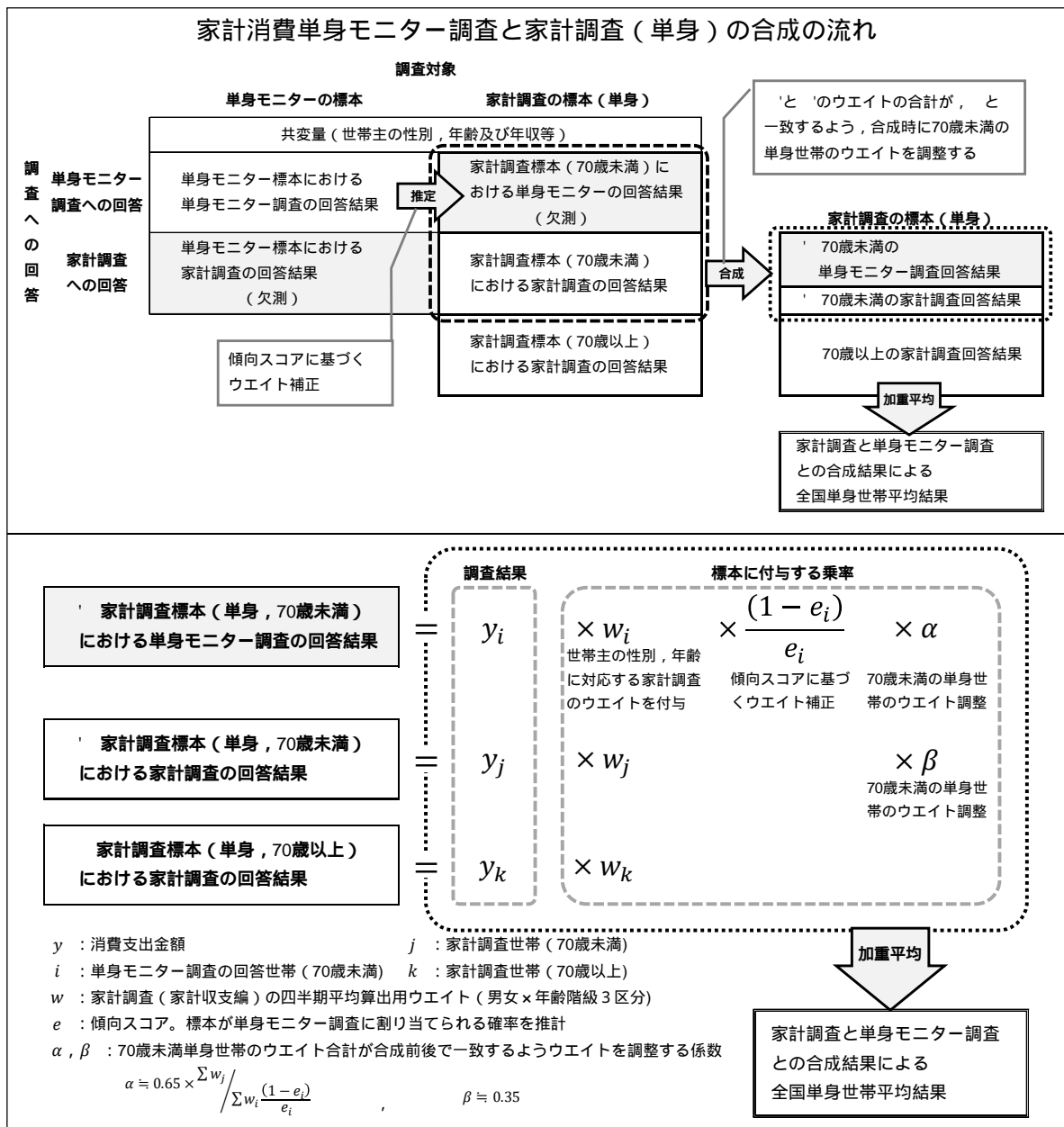
3 推定方法の詳細

(1) 家計消費単身モニター調査と家計調査の合成

家計消費単身モニター調査は、民間事業者の登録モニターから抽出した70歳未満の単身世帯（以下「単身モニター」という。）を対象とした調査であり、無作為抽出によるものではないことを考慮して、そのウェイトを以下のとおり付与する。

- ・単身モニターに対し、性別及び年齢に対応する家計調査のウェイトを付与した後、傾向スコア³に基づきウェイトを補正する。傾向スコアは、共変量に世帯の属性情報（世帯主の性別，年齢及び年収等）を用いたロジスティック回帰モデルにより算出する。
- ・70歳未満の単身世帯のウェイトの合計が合成前後で一致するよう、単身モニター及び家計調査の70歳未満の単身世帯のウェイトを補正する。その際、単身モニターのウェイトの合計と、家計調査の70歳未満の単身世帯のウェイトの合計との比率が、0.65：0.35（各調査の消費支出の分散の逆数比）となるようにする。
- ・以上のウェイトを付与したレコードを70歳未満の単身世帯を除く家計調査の標本に加えることで、家計調査との合成結果（以下「家計・モニター調査」という。）を得る。

（3）傾向スコアは、標本が家計消費単身モニター調査に割り当てられる確率として推計され、これに基づき単身モニターのウェイトを補正することで、単身モニターが家計調査の標本として家計消費単身モニター調査に回答した場合の支出金額が推定される（星野（2005）・星野（2009））。



(2) 家計消費状況調査との合成

- 当月（ m ）の購入頻度の少ない高額商品・サービスについて、10大費目別（ i ）支出金額を、家計・モニター調査及び家計消費状況調査それぞれについて、世帯属性（世帯人員6区分（ j ）、世帯主の年齢階級6区分（ k ）⁴）別に算出する。

支出金額を算出する世帯属性

		世帯主の年齢階級6区分（歳）					
		~39	~49	~59	~69	~79	80以上
世帯人員6区分	単身	男					2区分統合
		女					2区分統合
	2人						
	3人						
	4人						2区分統合
	5人以上						2区分統合

支出金額を算出する世帯属性（勤労者世帯）

		世帯主の年齢階級6区分（歳）					
		~39	~49	~59	~69	~79	80以上
世帯人員6区分	単身	男					3区分統合
		女					3区分統合
	2人						2区分統合
	3人						3区分統合
	4人						3区分統合
	5人以上						3区分統合

- ・算出した家計・モニター調査の10大費目別支出金額 ($X_{i,j,k,m}^F$) と家計消費状況調査の10大費目別支出金額 ($X_{i,j,k,m}^S$) を、世帯属性 (j, k) ごとに加重平均し、合成後の10大費目別支出金額 ($X_{i,j,k,m}^{FS}$) を算出する。ウエイトには、予め求めておいた家計・モニター調査と家計消費状況調査の世帯属性別の分散 ($V_{j,k}^F, V_{j,k}^S$) の逆数を用いる。

$$X_{i,j,k,m}^{FS} = \frac{\frac{1}{V_{j,k}^F} X_{i,j,k,m}^F + \frac{1}{V_{j,k}^S} X_{i,j,k,m}^S}{\frac{1}{V_{j,k}^F} + \frac{1}{V_{j,k}^S}} = \frac{V_{j,k}^S X_{i,j,k,m}^F + V_{j,k}^F X_{i,j,k,m}^S}{V_{j,k}^F + V_{j,k}^S}$$

- (4) 家計・モニター調査及び家計消費状況調査において標本サイズが小さくなる区分については、隣接する年齢階級を統合している。

(3) 世帯属性別支出金額の算出

- ・(2)以外の商品・サービスについて、10大費目 (i) 及び世帯属性 (j, k) ごとに、家計・モニター調査の支出金額 ($X'_{i,j,k,m}$) を算出する。
- ・算出した(2)以外の商品・サービスへの10大費目別支出金額 ($X'_{i,j,k,m}$) を、(2)の10大費目別支出金額 ($X_{i,j,k,m}^{FS}$) と10大費目 (i) 及び世帯属性 (j, k) ごとに合算することで、10大費目ごとの世帯属性別支出金額 ($X_{i,j,k,m}$) を得る。

$$X_{i,j,k,m} = X_{i,j,k,m}^{FS} + X'_{i,j,k,m}$$

(4) 世帯の種類別支出金額の算出

- ・当月 (m) の世帯属性別世帯数 ($w_{j,k,m}$) ⁵ をウエイトに用いて、(3)の世帯属性別支出金額 ($X_{i,j,k,m}$) を加重平均し、世帯の種類別 (h) の支出金額 ($X_{h,i,m}, X_{h,m}$) を算出する。

$$X_{h,i,m} = \frac{\sum_{j,k \in G_h} w_{j,k,m} X_{i,j,k,m}}{\sum_{j,k \in G_h} w_{j,k,m}}$$

$$X_{h,m} = \sum_i X_{h,i,m}$$

G_h : 世帯の種類 (h) に対応する世帯属性の組み合わせ全体

- ・世帯属性別世帯数の基準年平均 ($\bar{w}_{j,k}$) をウエイトに用いて、(3)の世帯属性別支出金額 ($X_{i,j,k,m}$) を加重平均し、世帯属性を基準年の分布に調整した世帯の種類別 (h) 支出金額 ($X_{h,i,m}^a, X_{h,m}^a$) を算出する。

$$X_{h,i,m}^a = \frac{\sum_{j,k \in G_h} \bar{w}_{j,k} X_{i,j,k,m}}{\sum_{j,k \in G_h} \bar{w}_{j,k}}$$

$$X_{h,m}^a = \sum_i X_{h,i,m}^a$$

$$\bar{w}_{j,k} = \frac{\sum_{m \in 2020.1 \sim 12} w_{j,k,m}}{12}$$

- (5) 労働力調査の結果について独自集計を行い算出した12か月後方移動平均を使用している。

(5) 指数値の算出（名目値，実質値，季節調整値及び傾向推計値）

- ・(4)で求めた世帯の種類別(h)の支出金額($X_{h,i,m}, X_{h,m}$)を，基準年の消費支出の平均月額(\bar{X}_h)で除することで，基準年の消費支出の平均月額を100とする指数($I_{h,i,m}, I_{h,m}$)を作成する。

$$I_{h,i,m} = \frac{X_{h,i,m}}{\bar{X}_h} \times 100$$

$$I_{h,m} = \frac{X_{h,m}}{\bar{X}_h} \times 100$$

$$\bar{X}_h = \frac{\sum_{m \in 2020.1 \sim 12} X_{h,m}}{12}$$

- ・上記の($X_{h,i,m}, X_{h,m}$)を($X_{h,i,m}^a, X_{h,m}^a$)で置き換える(ただし \bar{X}_h は同一)ことにより，世帯属性を基準年の分布に調整した分布調整値($I_{h,i,m}^a, I_{h,m}^a$)を得る。
- ・各10大費目に対応する消費者物価指数を用いて指数の実質化を行うほか，センサス局法(X-12-ARIMA)に基づき季節調整値⁶及び傾向推計値を算出する。
(6)季節調整のオプションについては別紙を参照。

(6) 参考詳細表

- ・参考詳細表に掲載する支出金額は，指数の算出に用いる支出金額と同じ手順で算出しているが，(2)家計消費状況調査との合成～(4)世帯の種類別支出金額の算出において用いる世帯属性は，以下のとおり世帯主の年齢階級8区分，世帯人員6区分としており，指数値の算出に用いるものと異なっている。このため，参考詳細表に掲載する支出金額は，指数の算出に用いるものとは必ずしも一致しない。

参考詳細表の支出金額算出において用いる世帯属性

			世帯主の年齢階級8区分(歳)							
			～29	～39	～49	～59	～69	～79	80以上	65以上 (再掲)
世帯人員6区分	单身	男								
		女								
	2人									
	3人									
	4人									
5人以上										

- ・参考詳細表に掲載する「世帯数分布(抽出率調整)」～「持家率(%)」についても，世帯主の年齢階級8区分，世帯人員6区分により算出している。なお，「世帯数分布(抽出率調整)」～「持家率(%)」の算出には，家計・モニター調査の値($X_{i,j,k,m}^F$)のみ使用し，家計消費状況調査の値($X_{i,j,k,m}^S$)は使用していない。

$$X_{h,i,m} = \frac{\sum_{j,k \in G_h} w_{j,k,m} X_{i,j,k,m}^F}{\sum_{j,k \in G_h} w_{j,k,m}}$$

i : 世帯数分布(抽出率調整)～持家率(%)

・参考詳細表については、月次及び年次の結果を以下のとおり公表している。

表番号	結果表	世帯の種類		
		総世帯	二人以上の世帯	単身世帯
第1表	世帯人員別1世帯当たりの品目別支出金額		-	-
第2表	世帯主の年齢階級別1世帯当たりの品目別支出金額			-
第3表	男女、年齢階級別1世帯当たりの品目別支出金額	-	-	

4 2020年基準改定

世帯消費動向指数（CTIミクロ）では、2021年7月分より、基準年次を2020年とする2020年基準改定を行い、財・サービス区分別結果^{注1}の公表を開始したほか、精度向上のため、家計調査、家計消費単身モニター調査及び家計消費状況調査結果の合成方法等^{注2,3}の見直しを行った。概要は下記のとおり。

	項目	改定・変更内容	該当期間
1	指数 原数値 (対前年増減率)	・基準年変更(2015年 2020年) ・財・サービス区分 ^{注1} の作成開始 ・合成方法の見直し ^{注2} ・接続指数の作成 ・CPI改定に伴う実質値の改定 ・対前年増減率系列の拡充	全期間(2019年以前は、接続指数) (二人以上の世帯:2002年1月～) (総世帯・単身世帯:2017年1月～,2002年1-3月期～,2002年～)
2	指数 季節調整値 (対前月(期)増減率)	・原数値の改定・変更に伴う改定 ・対前月(期)増減率系列の拡充	全期間 (二人以上の世帯:2002年1月～) (総世帯・単身世帯:2017年1月～,2002年1-3月期～)
3	参考詳細表	・合成金額作成方法の見直し ^{注3}	2020年1月～

(注1) 財・サービス区分の指数について

財・サービス区分の分類は原則として家計調査と同じであるが⁷、仕送り先世帯で発生した授業料等を事業者へ直接払った際の分類について、「仕送り金」から「授業料等」への見直しを2020年1月分から行っている⁸。このため、財・サービス区分別指数の接続指数⁹は作成していない。また、同様の理由により、10大費目の「教育」及び「その他の消費支出」についても接続指数は作成していない。

これに伴い、財・サービス区分別結果、10大費目の「教育」¹⁰の季節調整値は当面作成しない。

(7) 分類の詳細は「家計調査 収支項目分類」<<https://www.stat.go.jp/data/kakei/9.html>>を参照。

(8) 家計調査の財・サービス区分別消費支出は、品目分類の結果から集計しており、財・サービス支出計には、「こづかい(使途不明)」、「贈与金」、「他の交際費」及び「仕送り金」は含まれていない。

(9) 2015年基準の指数を、新旧基準の基準年消費支出平均月額比を用いて換算したもの。

(10) 「その他の消費支出」及び単身世帯の「教育」の季節調整値についても、引き続き作成しない。

(注2) 合成方法の見直し

家計調査(70歳未満の単身世帯)と家計消費単身モニター調査の合成比率は、2015年基準では、おおよそ0.5:0.5となっていたが、2020年基準では、各調査の消費支出の分散の逆数比である0.35:

0.65により合成することとした（3 推定方法の詳細（1）参照）。

同様に、家計・モニター調査と家計消費状況調査の合成においては、2015年基準では世帯の種類ごとに一律の比率（総世帯は111：220，二人以上世帯は80：200，単身世帯は31：20）により世帯の種類別の支出金額を合成していたが、2020年基準では、各調査の世帯属性別支出金額の分散の逆数比により世帯属性別支出金額を合成した後、合成した世帯属性別支出金額を、世帯属性別世帯数をウエイトに用いて加重平均することで、世帯の種類別の支出金額を算出することとした（3 推定方法の詳細（2）参照）。

（注3）参考詳細表における支出金額算出方法の見直し

指数値の算出に用いる支出金額と同様の方法により、算出することとした（注2及び3 推定方法の詳細（6）参照）。

参考文献

- [1] 星野崇宏(2005) 欠測群の周辺分布の母数に対する傾向スコアを用いた重み付きM推定量の提案と介入効果研究への応用，行動計量学，32(2)，pp.121-132.
- [2] 星野崇宏(2009) ，『調査観察データの統計科学：因果推論・選択バイアス・データ融合』，岩波書店.
- [3] 消費統計研究会（平成29年度 第1回～第3回，令和2年度 第1回，令和3年度 第1回）資料
<https://www.stat.go.jp/info/kenkyu/skenkyu/index.html>

消費動向指数 (CTI) の季節調整におけるARIMAモデル及び回帰変数一覧

表1. 世帯消費動向指数 (総世帯)

費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値	
名目	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday -m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2021.12-2022.10 AO2022.Sep
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2020.Jan AO2020.Feb AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2015.Sep AO2019.May LS2020.Apr LS2020.Jul LS2020.Dec LS2021.Mar LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)	td		AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun AO2020.Oct Rp2020.11-2021.2 LS2021.Mar AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.4
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday -m200213	LS2010.Oct Rp2012.1-2012.3 AO2014.Mar AO2014.May LS2020.Mar LS2020.Oct AO2020.May AO2021.Aug
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.10
実質	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday -m200113	AO2011.Mar AO2013.Feb AO2013.Mar AO2013.Apr AO2014.Mar LS2014.Apr AO2015.Mar AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug AO2022.Feb
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2007.Jan AO2014.Mar AO2014.Apr AO2015.Jan AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2020.Aug AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct AO2020.Jan AO2020.Feb AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(2 1 2)(0 1 1)		m200113	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr AO2020.Aug LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar LS2015.Oct AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)	td		AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun AO2020.Oct Rp2020.11-2021.2 LS2021.Mar AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.4
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday -m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb AO2012.Jun AO2014.Mar LS2014.Apr LS2020.Mar AO2020.Jun LS2020.Oct AO2021.Feb AO2021.May AO2021.Aug
	教養娯楽	(0 1 1)(1 1 2)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.10

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC (赤池情報量基準) や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表2. 世帯消費動向指数(総世帯のうち勤労者世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Apr Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2022.1-2022.10
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2022.Oct
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200213	Rp2015.9-2015.11 AO2019.May LS2020.Apr AO2020.Jun LS2020.Dec LS2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Dec Rp2022.1-2022.3
	家具・家事用品	(0 1 2)(1 1 1)	td1nolpyear		AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(1 1 2)(0 1 1)			AO2014.Mar AO2019.Aug AO2019.Sep LS2020.Jul LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.3
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear		AO2010.Aug LS2010.Oct AO2012.Jun LS2014.Apr
	教養娯楽	(0 1 1)(1 1 2)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct LS2022.Apr AO2022.Aug
実質	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2008.Jan LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(1 1 2)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2021.Sep AO2022.Feb AO2022.Mar
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2022.Oct
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2010.Sep LS2014.May LS2014.Dec AO2019.May LS2020.Apr AO2020.Jun LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 2)(0 1 1)	td1nolpyear		AO2014.Mar LS2014.Mar AO2019.Sep LS2019.Oct LS2020.Feb AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(1 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar AO2019.Aug AO2019.Sep LS2020.Jul LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear		AO2010.Aug LS2010.Oct LS2012.Feb AO2012.Jun LS2014.Apr LS2020.Mar LS2020.Oct AO2021.Feb AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug
	教養娯楽	(0 1 1)(1 1 2)			AO2010.Nov AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct LS2022.Apr

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表3. 世帯消費動向指数(二人以上の世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(2 1 0)(1 1 2)	tdnolpyear lpyear	jholiday -m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug Rp2022.3-2022.9
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2020.Sep AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2022.2-2022.10 AO2022.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2015.Sep AO2019.May AO2019.Aug AO2020.Aug LS2020.Dec LS2021.Mar AO2021.Apr LS2022.Feb
	家具・家事用品	(1 1 2)(0 1 1)			AO2014.Feb AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar LS2015.Oct AO2016.May AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(1 1 2)(0 1 1)	td		AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun Rp2020.11-2021.1 Rp2021.1-2021.3 AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.7
	交通・通信	(1 1 1)(0 1 1)		jholiday -m200213	LS2010.Oct Rp2012.1-2012.3 AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Oct LS2020.Mar LS2020.Oct AO2020.Jun AO2021.Aug AO2022.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.10
実質	消費支出	(2 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday -m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2013.Feb AO2013.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(0 1 1)(2 1 2)	td1coef	jholiday	AO2007.Jan AO2014.Mar AO2014.Apr AO2015.Jan AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2020.Aug AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(2 1 2)(0 1 1)		m200113	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr AO2020.Aug LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Jan AO2014.Mar LS2015.Oct AO2016.May AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(1 1 2)(0 1 1)	td		AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun Rp2020.11-2021.1 Rp2021.1-2021.3 AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.7
	交通・通信	(1 1 1)(0 1 1)		jholiday -m200213	AO2010.Aug Rp2010.9-2010.11 LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr LS2019.Oct AO2021.Apr AO2022.Jan
	教養娯楽	(0 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.10

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表4. 世帯消費動向指数(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(2 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug Rp2022.3-2022.10
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep Rp2020.3-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2022.2-2022.10
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200213	AO2010.Sep Rp2015.8-2015.10 AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Dec LS2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Dec LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear		AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef		AO2011.Mar LS2015.Oct AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			LS2012.Feb AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(1 1 2)(0 1 1)		m200213	AO2010.Aug LS2010.Oct LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr LS2020.Mar LS2020.Oct AO2021.Feb AO2021.Jun AO2021.Aug
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct
実質	消費支出	(2 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2008.Jan AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(1 1 2)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2014.May AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 2)(1 1 1)	td1nolpyear		AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef		AO2011.Mar AO2012.Nov AO2014.Mar LS2015.Oct AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			LS2012.Feb AO2014.Mar AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)			AO2004.Feb AO2010.Aug LS2010.Oct LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2014.May LS2019.Oct AO2021.Feb AO2021.Apr AO2021.May
	教養娯楽	(0 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct AO2022.Feb

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表5. 世帯消費動向指数(単身世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(0 1 2)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2014.Mar AO2015.Mar Rp2020.1-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun Rp2022.3-2022.10
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2004.Jul LS2009.Jan LS2017.Jan LS2019.Oct LS2020.Apr Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2021.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)			LS2015.Nov Rp2016.7-2016.9 AO2020.Oct AO2020.Nov AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	Rp2015.10-2016.1 AO2016.Jun LS2020.Apr Rp2020.6-2020.8 Rp2021.12-2022.2
	家具・家事用品	(2 1 2)(0 1 1)			AO2003.Sep AO2005.Feb AO2009.Mar AO2013.Dec AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(2 1 1)	td1coef		AO2005.Mar AO2007.Feb AO2007.Mar AO2014.Mar Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.7 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May LS2021.Aug AO2021.Dec
	保健医療	(1 1 1)(0 1 1)			AO2019.Aug AO2019.Sep Rp2021.11-2022.2
	交通・通信	(1 1 2)(0 1 1)	tdnolpyear		LS2012.Apr AO2012.Jun AO2015.Mar
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov TC2014.Mar AO2016.Dec AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 LS2020.Jun
実質	消費支出	(0 1 2)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2014.Mar AO2015.Mar Rp2020.1-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2004.Jul LS2017.Jan LS2020.Apr LS2020.Sep AO2021.Jan AO2021.May LS2021.Aug LS2021.Oct
	住居	(0 1 1)(0 1 1)			Rp2011.10-2012.1 LS2015.Nov Rp2016.7-2016.9 AO2016.Dec AO2020.Oct AO2020.Nov AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2008.Sep AO2008.Oct AO2016.Jun LS2020.Apr Rp2020.6-2020.8
	家具・家事用品	(2 1 2)(0 1 1)			AO2003.Sep AO2005.Feb AO2009.Mar LS2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(2 1 1)	td1coef		AO2005.Mar AO2007.Feb AO2007.Mar AO2014.Mar Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.7 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May LS2021.Aug AO2021.Dec
	保健医療	(1 1 2)(1 1 1)			AO2019.Aug AO2019.Sep Rp2021.11-2022.1
	交通・通信	(1 1 2)(0 1 1)	tdnolpyear		LS2012.Apr AO2012.Jun AO2015.Mar
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov TC2014.Mar AO2016.Dec Rp2020.2-2020.4 LS2020.Jun

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、[https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev sa.pdf](https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf) を参照。

表6. 世帯消費動向指数(分布調整値:総世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(1 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug Rp2022.1-2022.9
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2020.Sep AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug LS2022.Apr AO2022.Sep LS2022.Oct
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(2 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2015.Sep AO2019.May LS2020.Apr LS2020.Dec LS2021.Mar LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 2)(0 1 1)			AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar AO2016.May AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(0 1 1)(1 1 1)	tdnolpyear lpyear		AO2010.Aug AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun AO2020.Oct Rp2020.11-2021.2 Rp2021.2-2021.4 AO2021.Sep LS2021.Dec LS2022.Apr
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr LS2020.Mar AO2020.May LS2020.Oct AO2021.Aug
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.9
実質	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug
	食料	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef	jholiday	AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2020.Aug AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(2 1 1)(0 1 2)		m200113	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr AO2020.Aug LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 2)(0 1 1)			AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar LS2015.Oct AO2016.May AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(1 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear		AO2010.Aug AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun AO2020.Oct Rp2020.11-2021.1 Rp2021.2-2021.4 AO2021.Sep LS2021.Dec LS2022.Apr
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr LS2019.Oct LS2020.Mar LS2020.Oct AO2021.Feb AO2021.Apr AO2021.May AO2021.Aug
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct

(注1). 2023年1月分の公表時、外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては、AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については、https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表7. 世帯消費動向指数(分布調整値:総世帯のうち勤労者世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar Rp2020.3-2020.5 Rp2020.5-2020.10 AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2021.Sep Rp2022.1-2022.10
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200213	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr AO2020.Jun LS2020.Dec LS2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Dec LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 2)(1 1 1)	td1nolpyear		AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.7 AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(1 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb LS2020.Mar LS2020.Oct
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct
実質	消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	m200113	AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb AO2021.Aug
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2014.Mar AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2021.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 2)		m200113	LS2014.May AO2019.May LS2020.Apr LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(2 1 0)(0 1 1)	td1nolpyear		AO2014.Mar LS2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.7 AO2020.Jun
	被服及び履物	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(1 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb AO2012.Jun LS2020.Mar LS2020.Oct AO2020.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct

(注1). 2023年1月分の公表時, 外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては, AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については, [https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev sa.pdf](https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf) を参照。

表8. 世帯消費動向指数(分布調整値:二人以上世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(2 1 0)(2 1 2)	lpyear	jholiday-m200113	AO2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb Rp2021.4-2021.8 LS2021.Sep
	食料	(0 1 1)(1 1 0)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2020.Sep AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2022.1-2022.10
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2014.Apr AO2019.Sep AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2015.Sep AO2019.May AO2019.Aug AO2020.Aug LS2020.Dec LS2021.Mar AO2021.Apr LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 1)(1 1 2)			AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.7 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar AO2016.May AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.7 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)	lpyear		AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun Rp2020.11-2021.1 Rp2021.1-2021.3 AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.4
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday-m200213	Rp2010.9-2010.11 AO2014.Mar AO2019.Oct AO2020.May AO2020.Jul LS2020.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug AO2022.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct Rp2022.3-2022.9
実質	消費支出	(2 1 0)(0 1 1)	lpyear	m200113	LS2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb Rp2021.4-2021.8 LS2021.Sep
	食料	(2 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2014.Mar AO2014.Apr AO2015.Jan AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2020.Aug AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct AO2020.May AO2021.Mar AO2021.Apr
	光熱・水道	(2 1 1)(1 1 2)		m200113	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr AO2020.Aug LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 1)(1 1 2)			AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun LS2021.Jul
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar LS2015.Oct AO2016.May AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan AO2022.Feb
	保健医療	(2 1 1)(0 1 1)	lpyear		AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun Rp2020.11-2021.1 Rp2021.1-2021.3 AO2021.Sep LS2021.Dec Rp2022.2-2022.4
	交通・通信	(1 1 2)(0 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr LS2019.Oct AO2020.May AO2020.Jul AO2021.Aug AO2022.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct

(注1). 2023年1月分の公表時, 外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては, AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については, https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。

表9. 世帯消費動向指数(分布調整値:二人以上世帯のうち勤労者世帯)

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
名目	消費支出	(2 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear		LS2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug
	食料	(0 1 1)(1 1 2)	td1coef	jholiday	LS2011.Mar LS2012.Jan AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.3-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug Rp2022.3-2022.10
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2014.Apr AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200213	AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Jan LS2020.Apr AO2020.Jun LS2020.Dec LS2021.May AO2021.Dec LS2022.Feb
	家具・家事用品	(0 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear		AO2014.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Feb AO2020.Jun
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Oct AO2014.Mar AO2014.Apr AO2019.Oct LS2020.Mar AO2020.May AO2020.Jul AO2022.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct
実質	消費支出	(2 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear		LS2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.Feb LS2021.May AO2021.Aug
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2014.Mar AO2019.Sep AO2019.Oct Rp2020.2-2020.5 Rp2020.5-2020.9 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Sep
	住居	(0 1 1)(1 1 2)		m200113	AO2014.Mar AO2019.Oct AO2021.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 2)		m200113	LS2014.May AO2019.May AO2019.Aug LS2020.Apr LS2020.Dec AO2021.Mar AO2021.Dec
	家具・家事用品	(0 1 2)(1 1 2)	td1nolpyear		AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep LS2019.Oct Rp2020.1-2020.8 AO2020.Jun AO2020.Feb
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.4-2020.8 AO2020.Jun AO2021.Jan AO2021.May AO2021.Aug AO2022.Jan
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar Rp2014.12-2015.2 AO2019.Sep LS2020.Jun LS2021.Jan Rp2021.2-2021.4 Rp2021.11-2022.2 LS2022.Mar
	交通・通信	(1 1 1)(0 1 1)		jholiday-m200213	LS2010.Nov LS2012.Feb AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Oct LS2020.Mar LS2020.Oct AO2021.Feb AO2021.Mar AO2021.Apr AO2021.May AO2022.Jan
	教養娯楽	(1 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar LS2014.Apr AO2019.Sep Rp2020.2-2020.4 Rp2020.5-2020.10 AO2020.Jun LS2021.Jan AO2021.Apr AO2021.Aug LS2021.Oct

(注1). 2023年1月分の公表時, 外れ値の追加を行った。

(注2). ARIMAモデルについては, AIC(赤池情報量基準)や各次数の統計的な有意性を考慮した上で選定した。

家計調査の季節調整において作成したユーザー変数を準用している。

詳細については, https://www.stat.go.jp/data/kakei/longtime/pdf/rev_sa.pdf を参照。